

全国の中小企業・小規模事業者と丸の内大手企業が、互いのノウハウを結集

ていっぶす さんさんらぼ

## 東京駅前ビジネス創発拠点「TIP\*S/3×3 Labo」開設

■開設期間： 2014年10月30日(木)～2016年3月末(予定)

■所在地： 日本ビル6階662区(千代田区大手町2丁目6-2)

独立行政法人中小企業基盤整備機構(以下「中小機構」と三菱地所株式会社(以下「三菱地所」)は、全国各地の中小企業・小規模事業者のネットワークと当地区、大手町・丸の内・有楽町の企業コミュニティを連携させ、東京駅前(日本橋口)で新たなビジネス創発支援の場となる交流・活動拠点「TIP\*S/3×3 Labo」(ていっぶす/さんさんらぼ)を、本日2014年10月30日(木)に共同で開設しました。

中小機構が「TIP\*S」を、三菱地所が「3×3 Labo」をそれぞれ運営し、三菱地所は「3×3 Labo」の運営を当地区の持続可能なまちづくりを推進するエコツツエリア協会に委託します。

「TIP\*S」は、起業を目指す人や新事業に挑戦したい小規模事業者、とりわけ活躍の場を求める女性などが、ビジネスヒントを習得できる学びの場です。中小企業支援に関して幅広いノウハウをもつ中小機構が、ワークショップなどの参加型プログラムを通じて、事業アイデアの具体化をサポートします。

一方、「3×3 Labo」はCSV※1 ビジネス創発拠点として設立した登録制オープンスペースです。会社でも自宅でもない第3の場所「サードプレイス」の機能を持ち、のべ1万人が通う市民大学「丸の内朝大学」などのコミュニティと丸の内大手企業をつなげる交流・活動拠点を目指します。本年1月より約8カ月間、富士ビル(丸の内3丁目)での運営を経て、今般場所を移し中小企業との新たな連携をはじめます。

「TIP\*S/3×3 Labo」では、多様な業界・業種にわたる中小企業や小規模事業者と大企業の人材交流を促し、新事業創出や他分野への展開、共創の促進、日本の社会的課題や競争力強化に資する新たな事業アイデアの創出の場となることを目指します。

※1 CSV: 米国の経済学者、マイケル・ポーターが唱える「Creating Shared Value = 共通価値の創造」という新しいビジネス価値観。



左: 触れる地球ミュージアム  
右: カフェライブラリ

## ▶「TIP\*S/3×3 Labo」施設概要

- 所在地：日本ビル6階662区(東京都千代田区大手町2丁目6-2)
- 所有者：三菱地所株式会社
- 運営主体：<TIP\*S> 独立行政法人中小企業基盤整備機構  
<3×3Labo> エコツェリア協会
- 床面積：約850㎡(260坪)
- 開設時期：2014年10月30日～2016年3月末
- 利用時間：10時～18時(平日)  
※ワークショップ等プログラムは平日夜間・土曜日も実施
- 利用方法：各運営主体にお問い合わせください(お問い合わせ先欄参照)
- 施設構成：

### ①サロン&セミナーゾーン

最大150名を収容する大会議室。「TIP\*S」及び「3×3 Labo」が主催する各種セミナーやワークショップ、イベント等を開催するほか、プロジェクトから生まれたアイデアを実験的に実行する場としても利用します。部屋の境界を最小限にすることで、サロン&セミナーゾーン全面を利用できるだけでなく、小規模イベントの際にはセミナーゾーンをロールスクリーンで仕切れることもできます。

### ②プロジェクトルーム

実践へと歩みを進めたプロジェクトが専用で利用できる個室です。

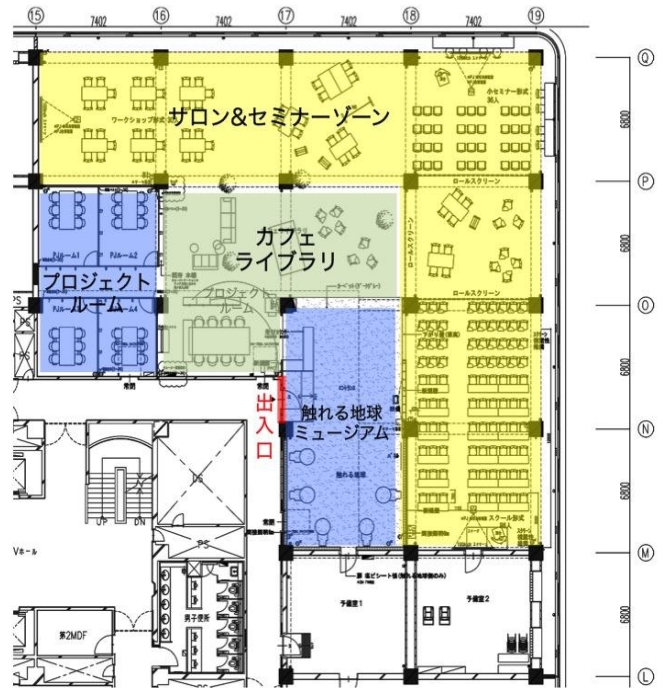
### ③カフェライブラリ

各ゾーンの利用者が自由に交流できるスペースです。

### ④触れる地球ミュージアム

竹村真一氏(京都造形芸術大学教授)が企画する環境教育ゾーン。生きた地球の姿をリアルタイムに感じることができるデジタル地球儀「触れる地球」5機を常設展示。株式会社ウエザーニューズによる気象情報番組の特設スタジオとしても運用していきます。

- その他施設：ライブラリー(関連書籍等の閲覧や情報検索)／朝大学テレビスタジオ／事務室／倉庫等
- その他設備：全室Wi-Fi完備



▲施設見取り図

## 「TIP\*S/3×3 Labo」オープニング・シンポジウム

「TIP\*S/3×3 Labo」の開設を記念して、「地域×食×農」をテーマにしたオープニングシンポジウムを開催します。

第1部では、地域での食や農業の現状、日本食のもつ未来的価値、その反面で課題となっている現代の日本人の食生活などについて、地域サイド(生産者の声、6次産業化等)と首都圏サイド(流通、消費等)の話題を軸に展開します。

第2部では、来年のミラノ博に向けて、イタリア訪問中の古田秘馬氏とテレビ電話をつなぎ、日本食の海外展開について考えます。

- ・日時：2014年10月31日(金)18時30分～21時30分(受付は18時開始)
- ・定員：200名
- ・参加費：2000円(当日支払い／軽食・飲み物付)
- ・プログラム：

#### 【第1部】18時30分～20時15分

- モデレータ・基調講演： 竹村 真一氏(京都造形芸術大学 教授)  
ゲスト： 松木 一浩氏(株式会社ピオファームまつき 代表取締役)  
太田 純氏 (全国農業協同組合連合会 総合企画部 事業開発課 調査役)  
林 聖子氏 (6次産業化中央サポートセンター)

#### 【第2部】20時20分～21時30分

- ゲスト： 石井秀代氏(オリーブオイルソムリエ)  
古田秘馬氏(丸の内朝大学プロデューサー)

- ・URL：<http://www.ecozzeria.jp/events/earth/tips33labo-1.html>



## ▶「TIP\*S」施設概要

- 名称：「TIP\*S」(ていっぷす)
- 所有者：独立行政法人中小企業基盤整備機構
- 運営主体：独立行政法人中小企業基盤整備機構
- ウェブサイト：<http://tips.smrj.go.jp/>

TIP\*Sは、全国の中小企業や小規模事業者、起業に関心がある方などのための新しい学びの場です。人材育成支援、経営支援、ビジネスマッチングなど中小企業支援に関して幅広いノウハウをもつ中小機構が、これまで実施してきた中小企業経営者向けの実践的な研修事業をさらに発展させ、ワークショップなどの参加型プログラムを実施。新拠点に集う多様な人材との交流と実践を通じて新たな事業アイデアを発掘し、具体化していく共創の場としての展開を目指します。日本再興戦略に掲げる開業率の向上や女性の活躍促進を踏まえ、新たに起業を志す方や女性に向けたプログラムも展開していく予定です。

名称は、英語で「ヒント・秘訣・コツ(複数形)」を意味する「TIPS」及び、Talk・Imagine・Perform・Stageの頭文字を組み合わせたもので、「会話・創造・行動が生まれる場所」を表現しています。「\*」は印をつけたいような「ヒント」がこの場にたくさん集まる「気づき」の場となるように、という想いを込めています。

## ▶「3×3Labo」施設概要

- 名称：「3×3 Labo」(さんさんらぼ)
- 所有者：三菱地所株式会社
- 運営主体：エコツヅェリア協会
- ウェブサイト：<http://www.ecozzeria.jp/nipponbldg33/>

3×3 Laboは、CSVビジネス創発拠点として設立した登録制オープンスペースです。名称は「3Gear×3rd Place Laboratory」の略で、サステナビリティの3要素「経済・社会・環境」がギアのごとくかみ合い、さらに会社でも自宅でもない第3の場所「サードプレイス」として業界業種の垣根を越えた交流・活動拠点として機能する場所を意味しています。大丸有エリアでは、様々な業種業態が連携し、CSVビジネスを創出する場として位置付けています。

2014年1月から8月まで、取り壊しが決定していた富士ビルの空きスペースを活用して、期間限定で開設されましたが、7.5ヶ月という短い期間に、約25,000人が来場し、約400回以上のイベントを通じて多様なコミュニティが形成されたことから、この度日本ビルで更に進化して、リニューアルオープンすることになりました。

## ▶ 独立行政法人中小企業基盤整備機構

中小企業基盤整備機構は、日本の中小企業政策の総合的な実施機関として中核的な役割を担う経済産業省所管の独立行政法人です。全国9ヶ所に展開する地域本部を通じ、中小企業の発展と地域振興の実現に向け、創業や新事業展開、販路開拓、海外展開を含む経営基盤の強化をはじめとする中小企業の様々なニーズに対し、経営アドバイス、研修、ファンドを通じた資金提供など多様な支援メニューを揃えています。

ウェブサイト：<http://www.smrj.go.jp/>

## ▶ エコツヅェリア協会

正式名称 一般社団法人大手町環境共生型まちづくり推進協会。

大手町・丸の内・有楽町エリアのサステナブルなまちづくりの推進を目的として設置され、当協会会員による「ワーキンググループ」、丸の内朝大学や、打ち水プロジェクトなどの「コミュニティアクション」、都市の低炭素化などを研究する「市場調査/R&D(研究開発)」、新丸ビル10階にある環境戦略拠点「エコツヅェリア」の運営の4事業領域からなるシンク&ドゥタンクです。

ウェブサイト：<http://www.ecozzeria.jp/>